

2021.6.18
 グリーンコープ
 生活協同組合連合会
 第二十九期
 通常総会

グリーンコープの運動と事業を推進する業務、 グリーンコープ連合会の業務の合理化・効率化に 努め、経営の改善・強化を図りました

共生の時代

みどりの地球を
 みどりのままで

連合会総会報告

■発行：グリーンコープ
 生活協同組合連合会理事会
 ■編集：共生の時代・編集部
 ■〒812-8561
 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
 博多大博通ビルディング3階
 TEL092(481)7923
 FAX092(481)7876
<http://www.greencoop.or.jp/>

2021年6月18日、グリーンコープ生活協同組合連合会の第二十九期通常総会が開催されました。共同体定時社員総会と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、書面議決を中心とした総会になりました。すべての議題について賛成多数で可決承認されました。2020年度の活動報告と2021年度の活動方針(要旨)などについて報告します。

第一号 議案

2020年度活動報告承認の件

グリーンコープ商品をより利用しやすくするために、商品の開発・改善を行いました

遺伝子組み換えの可能性のある原料をできるだけ使用しない商品の開発を行っています。また、遺伝子組み換え不分別の原料を使用している商品を、遺伝子組み換えしていない原料へ改善していく努力をしています。

特別企画・雑貨商品については、グリーンコープらしさがアピールできる商品の選定に努めました。今後も新商品の開発と、注文から翌週配達商品の拡大に取り組んでいきます。

を最大限活用し、人・場所・作業を特定して職場の感染リスク対策を徹底することにより、現場の不安を和らげ、作業を継続して行うことができました。

組合員が「商品の確かさを確認する活動」に取り組みました

2020年度はコロナ禍の影響で活動の回数を減らし、89人の組合員が17カ所の製造工場を訪問しました。組合員が直接、グリーンコープ商品の製造現場を訪問し、生産・製造の努力・苦勞・確かさを共有することで、商品のよさを実感して広く伝え、利用を伸ばすことができていると、今後はコロナ禍でも、お取引先と協力してオンラインで開催できるようにして、組合員の参加と訪問する製造工場を増やしていきたいと考えています。

4R運動の推進と環境に配慮したSDGsの取り組みを進めています

商品の容器を見直すことに取り組んでいます。具体的には、餃子(徳用)420gのトレーを、回収してリサイクルでき

るものに変更しました。今後もグリーンコープが長年取り組んできた環境を守る取り組みの一つとして、商品包材の見直しを進めていきます。

IT(情報技術)を活用・開発し、組合員が利用しやすい環境を整えました

果物の包材に同封しているアンケートに添付した2次元バーコードから、組合員がアンケートに回答できるようにしました。組合員の声が直接青果生産者に届けられることで、今後の励みとなるように、また、Webでの青果アンケート回収が増えるように、カタログGREENでも定期的な案内するようにしています。

2020年度は、「グリーンコープ元気便」の利用が前年比162%増(受注額)となりました。

また、組合員がWebでお届けしたい方を登録するだけで、簡単に注文できるようにシステムを改善しました。今後は元気便の仕分けについても自動化をめざし、利用拡大を図ります。

組合員外向けに分けることで、それぞれに該当するみなさんが必要な情報を見つけられるように整理しました。

※遠くにいるご家族への仕送り企画

産直青果の利用拡大と品質の改善、欠配対策に取り組んでいます

夏場の葉もの類、夏秋時期の果菜類など、欠配が多い時期を中心に、生産者との作付面積拡大の相談や新たな栽培希望の募集、新しい産地を探すなど、供給を増やせるように取り組んでいます。

青果物を「有機」や「農薬不使用」、「減農薬栽培」に区分して取り扱うことに向けて、主な野菜から取り組んでいます。野菜について「洗って出荷すること」の検討を進めています。今年度は、産直青果生産者と大根を洗って出荷することを検討・相談し、実現することができました。

カタログGREEN、Greenぷらす、夏冬のおくりものカタログ(手みやげ企画)の商品を充実させました

年々利用人数・点数が増えている「手みやげ企画」を、今後も共同購入申込書に掲載してアピールしていきます。

将来を見据えた物流システムを構築しています

各物流センターの仕分けシステムの改善によって人員減による人手不足が解消し、処理能力や労働環境の改善につなが

り、仕分けミスを減らすこともできました。物流経費は、人手不足で様々なコスト上昇が予測されます。今後も日常の小さなことから、コスト削減に継続して取り組んでいきます。

第三号 議案

2021年度活動方針決定の件

- グリーンコープの主人公である組合員がグリーンコープ運動を展開し、仲間を増やし、利用を高めます。
- 生命(いのち)を守り育てるグリーンコープの食べものを食べて、私たちの安心・安全な食べものを守り、より良く育てていきます。
- 「グリーンコープ商品の確かさを確認する活動」を重要なグリーンコープの組合員活動とし、メーカー・生産者との交流によって、商品管理の強化と商品の利用拡大をすすめていきます。
- グリーンコープ商品を見直し、改善と開発をすすめていきます。
- 組合員の伸びに呼応する生産や製造の実態を再構築し、組合員、メーカー・生産者、ワーカー(労働協同組合)、職員とともに利用の拡大をすすめていきます。
- グリーンコープらしいこだわりある特別企画商品(雑貨)を増やしていきます。
- グリーンコープ連合会と単協の経営を一層強化します。
- 四つの共生の願いに基づき取り組みをすすめます。各委員会の方針は次のとおりです。
 - 商品検討委員会
 - 新規提案の商品について、検討決定します。
 - 新規の農畜水産物の産地や新規のメーカーを視察します。
 - 日常的な商品管理等に関する報告事項について確認します。
 - 商品おすすめ委員会
 - 生産者やメーカーとのつながりを深め、単協での利用普及に活かします。
 - グリーンコープの「産直」や「商品」について知ることで、そのよさを実感し、オールグリーンコープで利用普及の取り組みをすすめます。
 - 組合員の声を活かした広報を通して利用普及を進めます。

2021.6.18
**グリーンコープ
 生活協同組合連合会
 第二十九期
 通常総会**
 第一号議案2020年度活動報告
 委員会報告

2020年度の連合会商品検討委員会と商品おすすめ委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月と5月は開催を中止し、6月からは委員会の形式をオンライン会議に変更して開催しました。

総会当日は、昨年度の総会で報告できなかった内容も含めて、2年分の委員会報告をしました。

**連合会
 商品検討委員会**

一人の母親、一人の組合員の感性を大切に
 組合員が利用したくなるような
 商品の検討を行いました

自信を持って組合員に
 おすすめできる商品を開発

会議の形式は変わりましたが、委員会検討はこれまでと変わらず、ひとつひとつの商品提案に真摯に向き合い、丁寧に検討を重ねました。安心・安

全で美味しいことはもちろん、量や規格など組合員が利用しやすい商品の確認を行い、組合員に愛される商品開発の検討に取り組みました。

2020年度も、多くの新規商品を生み出すことができました。より良い商品を開発するための取り組みを行いました。



夏と冬のおくりものは、中身の安心・安全はもちろん、包材にまでこだわって検討しました(2019年度の活動の様子)

**オンラインでの
 学習会や視察を行いました**

10月には、グリーンコープの化粧品メーカー(株)彩生舎を迎え、リニューアルした「ぬ水の彩日焼け止めクリームEX」の学習会を行いました。リニューアル品の大きな特長は、市販にはないブルーライトカット成分を配合した点です。ブルーライトは眼だけではなく、紫外線よりも奥深く肌にも影響し、頑固なシミやシワの

原因になることが分かりました。室内でもLEDライトや、テレビ、パソコン、至近距離でのスマートフォンから出ているブルーライト！
 グリーンコープの安心・安全な基準で作られていて、ブルーライトを78・8%カットした商品を生み出すことができたことは、貴重な取り組みでした。



ハケタ会のりんご園の看板は、検討を重ねて組合員の思いを文字と絵にしました

せんでしたが、2019年に台風被害に遭われたハケタ会を応援しようと、生産者と組合員が交流するための圃場に立てる応援看板を作りました。

**組合員の声を活かして
 より良い商品を**

委員は一人の母親、一人の組合員としての目線です。しっかりと検討を行うことを意識しました。そして、一人ひとりが納得のいくまで意見交換を行うことで、組合員の声が生かされたより良いグリーンコープ商品が、さらに前進していくことを実感することができました。グリーンコープにしかない、こだわりの安心・安全な商品を、次年度もみんなで見つけたいと検討して生み出していきたいと考えます。

**連合会
 商品おすすめ委員会**

生産者やメーカーとのつながりを深め、
 利用普及の取り組みに活かしました

オンラインで
 産地やメーカーと
 視察・交流を行いました

例年ならば産地に出向いて視察・交流や来訪いただくのが交流の定番ですが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために、インターネットを駆使し、動画やパワーポイントを使った視察・交流や学習会を行いました。生産者やメーカーの皆さんと会話をして商品への理解を深



オンラインでの中晩柑学習会は、各生協に中晩柑を送り、食べ比べをするという形で開催しました(2020年度の活動の様子)

めました。各生協でも、オンラインで試行錯誤しながら取り組みを行いました。商

品おすすめ委員会では、各生協で行った産地やメーカーの視察・交流の様子を単協報告書やチラシで共有しました。

また、視察・交流や学習会で学んだことを活かして、共生の時代の「グリーンコープのイチオシ！」コーナーに「連合会商品おすすめ委員会の『イチオシ！』」として4回登場し、組合員に広く商品をアピールしました。

商品メーカー視察・交流では、産直若鶏や産直たまごの生産者である(株)秋川牧園と、「ミミックスゼリー」の製造メーカーである江口製菓(株)の視察・交流を行いました。



産直野菜の利用普及のために、産地ごとの食べ比べをしたり、野菜レシピの共有をしました(2020年度の活動の様子)

メーカーの真摯な思いや、厳しい衛生管理の下で商品が作られていることが分かり、利用普及につながる視察・交流となりました。

**学習会で学んだことを
 利用普及につなげました**

委員からの要望を受けて開催した「グリーンコープの雑貨の考え方」学習会をはじめ、年間14回の学習会を行いました。雪印メグミルク(株)を迎えて行った「産直びん牛乳学習会」では、普段は見ることのできない製造ラインの様子を動画で視

聴し、大切な生乳が機械と人の目で丁寧に管理されていることが分かりました。動画は各生協でも視聴され、取り組みに活かすことができました。

商品の利用をすすめる委員会として、年間を通して生産者やメーカーの視察、様々な学習を行い、商品知識と思いを知り、強い信頼関係を築きました。コロナ禍ではありましたが、各生協で工夫をこらした様々な取り組みにつながり、グリーンコープ運動をすすめる、多くの人に伝えることができました。

連合会第二十九期通常総会で選出された役員

理事全体区 熊野 千恵美 共同体代表理事 連合会会長 ひろしま理事長 西村 大輔 連合会専務理事 片岡 宏明 共同体専務理事 連合会常務理事 ひょうご専務理事 河嶋 敏秀 連合会常務理事 本田 慎一 連合会常務理事 行岡 みち子 連合会常務理事 鹿毛 優子 共同体組合員事務局 連合会組合員事務局 東原 晃一郎 ふくおか常務理事 小笠原 尚隆 共済連合会専務理事	伊達 紗由里 連合会商品検討委員長 金田 幸代 連合会商品おすすめ 委員長 金子 智支江 連合会組織委員長 (共同体) 中本 瑞樹 連合会福祉委員長 (共同体) 荒木 憲子 共同体・連合会ワー ーズ常勤理事代表	林 美恵 とっとり理事長 吉田 由佳 (島根)理事長 貫 里恵 ひろしま副理事長 佐々木 春代 やまぐち理事長 三原 幸子 ふくおか理事長 坂本 寛子 ふくおか副理事長 木室 裕子 ふくおか副理事長 若松 由香 ふくおか副理事長 砥上 叔子 ふくおか副理事長 柳川 晶子 さが理事長 島田 美砂子 (長崎)理事長	高濱 千夏 くまもと理事長 八木 佳奈 くまもと副理事長 馬淵 早苗 くまもと副理事長 株元 知子 くまもと副理事長 薬師寺 ひろみ おおいた理事長 亀崎 恵理子 かごしま理事長 日高 容子 みやざき理事長	退任した役員 退任理事 南 栄作 くまもと 萩原 潤 おおいた 小椋 あけみ とっとり 田村 博子 くまもと 竹内 智子 くまもと 塚本 良子 グリーンワークス 退任監事 前田 千賀子 (長崎) 今津 健一 やまぐち
---	--	---	--	---

生協名は一部省略しました

グリーンコープに
 16番目の新しい仲間
**『グリーンコープ
 生活協同組合ふくしま』が
 加わりました**
第五号議案 定款変更の件
 福島県で活動される『グリーンコープ生活協同組合ふくしま』のグリーンコープ生活協同組合連合会への加入が確認されましたので定款変更を行いました。

連合会第二十九期通常総会議案採決の結果

代議員数212人	賛成	反対	保留
第一号議案 2020年度活動報告承認の件	多数	0	0
第二号議案 2020年度決算報告承認の件	多数	0	0
第三号議案 2021年度活動方針決定の件	多数	0	0
第四号議案 2021年度事業計画・予算決定の件	多数	0	0
第五号議案 定款変更の件	多数	0	0
第六号議案 役員選任の件	多数	1	0
第七号議案 役員報酬決定の件	多数	0	0
第八号議案 議案決議効力発生の件	多数	0	0